

令和4年度第2回伊勢市市民公益活動促進委員会 議事録

日 時：令和5年2月3日（金）15時30分～16時30分

場 所：オンライン開催

出席委員：

委員長 池 山 敦 氏 （皇学館大学 教育開発センター准教授）
副委員長 藤 岡 喜美子 氏 （(公社) 日本サードセクター経営者協会東海支部長）
秋 山 則 子 氏 （NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク 理事長）
川 北 輝 氏 （津市市民活動センター センター長
NPO 法人津市 NPO サポートセンター 理事長）
太 田 徹 （伊勢市環境生活部 市民交流課 地域自治推進係長）

【いせ市民活動センター指定管理者】

特定非営利活動法人 いせコンビニネット

増 川 尚 男 （事務局長）
西 川 恒 夫 （いせ市民活動センター長）
浦 田 宗 昭 （いせ市民活動センター企画部長）

【事務局】

木 村 扶美夫 （市民交流課 課長）
上 村 静 香 （市民交流課 市民交流主幹 市民交流係長）

1. 令和4年度上半期のいせ市民活動センターの管理運営状況について
・別紙報告書に基づき指定管理者から説明。

【意見交換】

※（委）＝委員 （指）＝指定管理者 （市）＝伊勢市

（委）コロナになって3年経って、事業実施の変化があれば。

（指）自主事業は令和元年度に沿った形で復活。9月以降はコロナ前のように実施できそう。市民活動フェスティバルも規模縮小して3/25に開催予定。

（委）現在のコロナ禍の利用ルールは。

（指）名簿の提出はせず人数の報告のみ。7日以内に感染者が出た場合は主催者が直接市や保健所に連絡していただき、施設への報告はしなくて良い。マスクの着用はお願いしているが厳密なソーシャルディスタンスの距離は指定しない。

（委）南館の利用人数が少なくて稼働率が増えているのは？

(指) 利用回数は増えているが、大人数での利用が減っている。団体内でも出席を控える人もいるのではないかと推測している。

(委) スタッフが少人数なのに、たくさん事業されている。

(委) キャッシュレス決済は、利用者からニーズがあって導入したのか？手数料がかかるはずだが、利用数が少なくても大丈夫ということで導入しているのか？

(指) キャッシュレス決済は令和3年度に市役所から要請され開始した。楽天ペイ、LINE Pay、メルペイ。利用者は1件のみ。かかる手数料はわずかである。
1年目は市負担、2年目からは指定管理者負担となったため、現在は休止状態。

(委) キャッシュレス決済は、個人として利用するのは便利だが、団体としての支払いはしにくいのかもしれない。

(委) 情報の収集について。コロナ禍でどういうふうになっていくと市民活動しやすいか。

(指) 登録団体は、活動を知って欲しいという気持ちがある。様々な伝達手段を使って団体やイベントの紹介をしていく。
交流会はなかなか参加の手が上がらないが、参加した人の評価は高い。
3月開催予定の市民活動フェスティバルは、半分ぐらいの参加を見込んでいたが、それ以上の反響がある。

(委) コロナ前と後ではずいぶんいろんなことが違っていると考えるし、登録団体にアンケートを取るなども考えてみては。

(指) 検討している。

(委) 自分の活動を知ってほしいというのは、何のためか？

(指) 「支援したい相手に支援を届けたい」「自分たちの学びを伝えたい」など。

(委) 1年前の公益活動促進委員会で「単にリアルをオンラインに代えるだけではなく、オンラインのいいところを広げる」という議論をした。機材の貸出だけではなく、活動団体のみなさんが、機材を活用してこんなことをやったとか、こういう報告を受けたとか、オンライン関係でこんな相談を受けたとか、そういう事例は無いのか？コロナをきっかけにオンラインが世間に受け入れられたことで、みんなのコミュニケーションが取りやすくなったと思う。
特に子育て中の人たちは、子どもが家にいてもコミュニケーションが取れるという

ことで、うまくサポートしてあげればすごく活性化する1年だったと思うが、どうか。

(指) 登録団体の活用状況としては、日本語教室がオンラインで教室を実施されたほか、リモート会議を行う団体も出てきている。
子育て世代等の話については、登録団体に若い方の登録が少ないのと、使える団体はすでに自分たちで活用されていて、支援を必要としていない。今年度LINEの使い方講習会を開催したが、申し込みがゼロだった。使う気があるか無いかで割れている。

(委) 例えばLINEは団体として公式アカウントを取れば、個人で使うより便利。また、交流したいというニーズが高いなら、オンラインなら地域を超えた交流ができる。ぜひコロナ禍だからこそITを使うという戦略を持ってやって欲しい。

(指) リユースPCの関係の事業は3年前からリモートで実施しているし、Zoomの使い方講習会も開催している。PCを使うような団体についてはうまく活用していただいていると思うが、末端までどうやって広めるかというのは課題。どうやって広げたらいいかを教えていただけるとありがたい。

(委) せっかくなので企画力を上げて欲しい。
これだけ情勢が変化しているので、年間報告をしっかりと書くから中間報告書は簡単に、というのではなく、半年ずつ振り返って改善していくサイクルにしてもいいのでは。そういう捉え方をしていれば、コロナ禍での利用者の変化にも気が付かれるのではないかと。
もともとITは得意分野だと思うので、いろいろ工夫して頑張ってもらいたい。

(委) LINE講座もニーズが無かったというのがあるが、ニーズをある程度把握した上で、目論見を建ててより効率的な支援をしていただけると良い。

2. その他市民活動事業について

- ・別紙資料に基づき市から報告。
 - ①いせ市民活動センターの場所選定について
 - ②高校生いせミライプロジェクトについて
 - ③まちづくり講演会（若新雄純さん）について
 - ④北浜まち協の取り組みについて

【意見交換】

(委) ②③は市民活動センターでできると良いと思う。

④については、自分も活動の中で視察に行きたいくらい素晴らしいと思っている。ふだんから防災について、地域と学校が一緒に取り組んでいると、このようないい動きができる。

(委) ②について、皇学館大学では、学生のセレクトした詰め合わせをふるさと納税の返礼品にしている。ひとつのヒントとして参考にしてほしい。

以上